

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果（兵庫県が所管するもの）

※次の各表における耐震診断の結果は、震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの建築物も、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模の地震に対しては、損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

※「耐震改修等の予定」欄には、「大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」（末尾の附表の区分Ⅲ）と評価される場合には、耐震改修等の必要がないことから「－」を、それ以外の場合であっても、耐震改修等の予定がある場合はその内容を記載している。

■体育館（一般公共の用に供されるものに限る。）、ポーリング場、スケート場、水泳場その他これらに類する運動施設

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	たつの市立龍野体育館	たつの市龍野町富永1005番地1	体育館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（1990年版）	$I_s/I_{s0}=1.31$ $C_i \cdot S_0=0.46$	－		
2	赤穂市民総合体育館	赤穂市加里屋1278	体育館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{s0}=1.19$ $C_{iv} \cdot S_0=0.32$	－		
3	青山スポーツガーデン	太子町山田668番地2 他	ポーリング場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版）	$I_s=0.14$ $q=0.56$	耐震改修	平成30年着工	

■病院又は診療所

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	三木山陽病院	三木市志染町吉田1213-1他	病院	－	－	－		
	A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{s0}=1.36$ $C_{iv} \cdot S_0=0.85$			
	B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（2011年版）	$I_s=1.14$ $q=1.52$			
	C、D、E棟		建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法（昭和25年法律第201号）並びにこれに基づく命令及び条例の規定（構造耐力に係る部分（構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。）に限る。）に適合するものであることを確認する方法	確認できる				
2	市立加西病院（本館）	加西市北条町横尾字東川向430-1	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2009年版）（鉄骨材が充腹材の場合）	$I_s/I_{s0}=0.35$ $C_{iv} \cdot S_0=0.19$	検討中		$U=1.10$
3	公立豊岡病院日高医療センター	豊岡市日高町岩中81	病院	－	－	検討中		
	本館(A)、本館(B)、新館、空調機械室			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{s0}=0.50$ $C_{iv} \cdot S_0=0.32$			
	新館増築部			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（2011年版）	$I_s=0.21$ $q=0.86$			

4	柏原赤十字病院	丹波市柏原町柏原 字小竹1180番地外 16筆	病院	—	—	—		新病院への統合により 閉院し、統合後に建物 全体を除却予定（時期 未定）
	本館			—	$I_s/I_{so}=1.09$ $C_{70} \cdot S_0=0.69$	—		
	A病棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=0.98$ $C_{70} \cdot S_0=0.62$	除却	統合後	
	B病棟			—	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{70} \cdot S_0=0.43$	—		
	C病棟			$I_s/I_{so}=0.37$ $C_{70} \cdot S_0=0.33$	除却	統合後		

■劇場、観覧場、映画館又は演芸場

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の 地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	豊岡市民会館	豊岡市立野町20-34	劇場	—	—	—		
	会館棟、歩道橋			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{70} \cdot S_0=0.75$	—		
	文化ホール棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート 造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2009年版） （鉄骨材が非充腹材の場合）	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{70} \cdot S_0=0.38$	—		

■集会場又は公会堂

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の 地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	西脇市総合市民センター （アリーナ棟、研修棟、武道場棟）	西脇市西脇790-15 番地	集会場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{70} \cdot S_0=0.47$	—		
2	加西市民会館	加西市北条町古坂1 丁目1番地	集会場	—	—	—		$U=1.25$
	文化ホール コミュニティセンター			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{70} \cdot S_0=0.38$ $I_s/I_{so}=0.68$ $C_{70} \cdot S_0=0.53$	耐震改修	平成31年9月着工 平成32年8月完了	
3	赤穂市民会館	赤穂市加里屋中洲3 丁目55番地	公民館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.03$ $C_{70} \cdot S_0=0.86$	—		$U=1.25$
4	国立淡路青少年交流の家	南あわじ市阿万塩 屋町757-39	集会場	—	—	—		
	談話棟、本館、講堂・食堂棟、 宿泊棟 渡り廊下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{70} \cdot S_0=0.73$ $I_s/I_{so}=0.56$ $C_{70} \cdot S_0=0.15$	耐震改修	平成29年度 着工・完了	

■百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の 地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	コープこうべ コープ志染	三木市志染町西自 由が丘1-166	物品販売店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震 診断指針」（1996年版）	$I_s=0.73$ $q=1.71$	—		
2	赤とんぼ広場	たつの市龍野町堂 本260-1	物品販売店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{70} \cdot S_0=0.62$	—		
3	イオン竜野店	たつの市堂本五反 田250-1	物品販売店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{70} \cdot S_0=0.65$	—		

■ホテル又は旅館

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	HOTEL THE PAVONE	三木市細川町垂穂横山894-60他845筆	ホテル	-	-	-	-	U=1.10
	レクリエーションセンター多目的ホール、大浴場、集会室			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所用の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{s0}=1.21$			
	レクリエーションセンター本館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.12$ $C_{70} \cdot S_0=0.82$			
	ホテル西館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.55$ $C_1 \cdot S_0=0.30$			
	ホテル東館		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1997年版)(鉄骨材が充腹材の場合)	$I_s/I_{s0}=1.20$ $C_1 \cdot S_0=0.27$				
2	大江戸温泉物語きのさき	豊岡市城崎町菊屋島字桃島1232	旅館	-	-	-	-	
	本館PH階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所用の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{s0}=1.05$			
	本館1~6階RC造部分、別館1,2階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.00$ $C_{70} \cdot S_0=0.62$			
	本館1,2,6,7階S造部分、別館3階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.63$ $q=1.05$			
3	西村屋ホテル招月庭	豊岡市城崎町湯島字神主谷1016-2	旅館	-	-	-	-	
	高層棟、低層棟、増築棟4階~PH2階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.00$ $C_{70} \cdot S_0=0.60$			
	増築棟1階~3階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(鉄骨材が非充腹材の場合)	$I_s/I_{s0}=1.00$ $C_{70} \cdot S_0=0.46$			
4	深山楽亭(深山館)	豊岡市城崎町湯島字甲番1011番地	旅館	-	-	-	未定	④RC棟は補強設計時に、一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」を行う予定。
	階段室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所用の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{s0}=2.27$			
	①②RC棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.23$ $C_{70} \cdot S_0=0.15$			
	n客室棟、w客室棟、厨房棟、渡廊下棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.002$ $q=0.01$			
	電気室棟				$I_s=0.00$ $q=0.00$			
	木造棟			一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」	上部構造評点=0.10			
5	奥城崎シーサイドホテル	豊岡市竹野町竹野字賀嶋4番	旅館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.34$ $C_{70} \cdot S_0=0.23$	耐震改修	平成31年1月着工 平成31年12月完了	
6	三好屋	美方郡新温泉町湯1671-3	旅館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.16$ $C_{70} \cdot S_0=0.14$	耐震改修	平成30年度着工	
7	淡路島観光ホテル	洲本市小路谷1053番地の17	旅館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.03$ $C_{70} \cdot S_0=0.09$	耐震改修	検討中	
8	ホテル海月館	洲本市海岸通1丁目3番11号	旅館	-	-	-	耐震改修	平成32年4月着工 平成36年10月完了
	0期部分、1期部分1・2階、2~4期部分			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.13$ $C_{70} \cdot S_0=0.07$			
	1期部分3階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.005$ $q=0.02$			

■飲食店、キャバレー、料理店、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	西脇カントリークラブ クラブハウス	西脇市上比延町字石仏1426-1	ゴルフ場 クラブハウス	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.60$ $C_{IV} \cdot S_0=0.49$	未定		

■理髪店、質屋、貸衣装屋、銀行その他これらに類するサービス業を営む店舗

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	但馬信用金庫本館	豊岡市中央町17-8	銀行	-	-	-		
	西棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.05$ $C_{IV} \cdot S_0=0.36$			
	東棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)(鉄骨材が充腹材の場合)	$I_s/I_{s0}=1.03$ $C_{IV} \cdot S_0=0.55$			

■保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	西脇市役所 (庁舎棟、議会棟)	西脇市郷瀬町605番地	市役所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.12$ $C_{IV} \cdot S_0=0.12$	建替え	平成30年10月着工 平成32年 8月完了	
2	赤穂市庁舎	赤穂市加里屋81番地	市役所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1983年版)	$I_s/I_{s0}=1.23$	-		
3	豊岡総合庁舎 (本館棟・保健所棟)	豊岡市幸町7-11	総合庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.26$ $C_{IV} \cdot S_0=0.84$	-		

■幼稚園、小学校等又は幼保連携型認定こども園

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	猪名川町立松尾台小学校 (校舎)	川辺郡猪名川町松尾台2丁目3番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.13$ $C_{IV} \cdot S_0=0.34$	-		
2	猪名川町立中谷中学校 (南棟、渡り廊下棟、中央棟)	川辺郡猪名川町原字尾鼻ヶ尾747番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.06$ $C_{IV} \cdot S_0=0.31$	-		
3	稲美町立天満小学校 (普通教室棟)	加古郡稲美町岡538	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.23$ $C_{IV} \cdot S_0=0.31$	-		
4	稲美町立天満南小学校 (管理・普通・特別教室棟)	加古郡稲美町森安81	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_{IV} \cdot S_0=0.40$	-		
5	稲美町立稲美中学校 (管理教室棟・普通教室棟、特別教室棟・渡廊下棟)	加古郡稲美町岡2075-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.18$ $C_{IV} \cdot S_0=0.38$	-		
6	播磨町立播磨西小学校 (校舎棟)	加古郡播磨町北本荘4丁目5番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_{IV} \cdot S_0=0.39$	-		
7	播磨町立蓮池小学校	加古郡播磨町西野添4丁目3番1号	小学校	-	-	-		診断未実施の給食室2(23㎡)部分は、給食室1(189㎡)の耐震改修時に除却予定。
	北校舎、昇降口、管理・教室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.35$ $C_{IV} \cdot S_0=0.47$	-		
	渡り廊下・給食室1				$I_s/I_{s0}=0.44$ $C_{IV} \cdot S_0=0.34$	耐震改修	平成31年 6月着工 平成32年 3月完了	

8	播磨町立播磨小学校 (南校舎、北校舎棟、渡り廊下1)	加古郡播磨町宮北1 丁目3番10号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.08$ $C_{10} \cdot S_0=0.46$	—	
9	播磨町立播磨南中学校 (北校舎棟)	加古郡播磨町古宮 243-9	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.04$ $C_{10} \cdot S_0=0.56$	—	
10	播磨町立播磨中学校 (南校舎棟、教室棟、渡り廊下、北校舎棟)	加古郡播磨町南大 中1丁目6-50	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.38$	—	
11	兵庫県立東はりま特別支援学校	加古郡播磨町北古 田1-17-17	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.43$ $C_{10} \cdot S_0=0.40$	—	$U=1.25$
12	西脇市立重春小学校 (本館棟、本館増築棟、昇降口棟、校舎棟)	西脇市野村町 1795-185番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.04$ $C_{10} \cdot S_0=0.37$	—	
13	西脇市立西脇中学校 (本館棟、校舎棟、昇降口棟)	西脇市小坂町95番 地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.08$ $C_1 \cdot S_0=0.31$	—	
14	三木市立自由が丘小学校 (教室棟、管理棟、特別教室棟)	三木市志染町中自 由が丘三丁目70番 地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.18$ $C_1 \cdot S_0=0.32$	—	
15	三木市立広野小学校 (普通教室棟、昇降口棟、管理特別 教室棟)	三木市志染町広野 二丁目107番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.30$ $C_{10} \cdot S_0=0.40$	—	
16	三木市立志染小学校 (教室棟)	三木市志染町御坂 586番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.27$ $C_1 \cdot S_0=0.33$	—	
17	三木市立緑が丘東小学校 (普通教室棟、昇降口棟、管理特別 教室棟)	三木市緑が丘町東 四丁目45番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.27$ $C_{10} \cdot S_0=0.39$	—	
18	三木市立三木中学校 (特別教室・教室棟、教室棟・管理教 室棟、西・東渡り廊下)	三木市末広二丁目 250番地1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.27$ $C_{10} \cdot S_0=0.33$	—	
19	三木市立緑が丘中学校 (教室棟、玄関管理棟、管理特別教 室棟)	三木市緑が丘町東 四丁目17番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.20$ $C_1 \cdot S_0=0.37$	—	
20	兵庫県立のじぎく特別支援学校 (1号棟、2号棟、管理棟、渡り廊下)	三木市緑が丘町本 町2丁目3-1 他7筆	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.26$ $C_{10} \cdot S_0=0.41$	—	$U=1.25$
21	小野市立小野東小学校 (普通教室棟、特別教室棟、管理・ 普通教室棟、東北・東南渡り廊下)	小野市天神町 1185-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.06$ $C_{10} \cdot S_0=0.33$	—	
22	小野市立小野南中学校 (管理棟、普通教室棟②、特別教室 棟、東階段棟)	小野市大島町598	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.09$ $C_{10} \cdot S_0=0.39$	—	
23	小野市立旭丘中学校 (北校舎棟、南校舎棟、東・西渡り 廊下)	小野市古川町字南 山940-1番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.37$	—	
24	小野市立河合中学校 (北校舎棟、南校舎棟、東・西渡り 廊下棟)	小野市三和町493-2 番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.04$ $C_{10} \cdot S_0=0.32$	—	
25	加西市立日吉小学校 (普通教室棟・管理棟)	加西市和泉町56	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.14$ $C_1 \cdot S_0=0.30$	—	
26	加西市立九会小学校 (北棟、南棟、東西渡り廊下)	加西市中野町5	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.10$ $C_{10} \cdot S_0=0.31$	—	
27	加西市立加西中学校 (管理・普通教室棟)	加西市上宮木町524	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_{10} \cdot S_0=0.84$	—	
28	加西市立泉中学校 (西棟、中央棟、東棟)	加西市満久町 685-11	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.10$ $C_{10} \cdot S_0=0.61$	—	
29	加西市立善防中学校 (北棟、南棟、東西渡り廊下)	加西市両月町484-2	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.14$ $C_{10} \cdot S_0=0.38$	—	

30	加東市立福田小学校 (校舎棟)	加東市沢部613-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.04$ $C_{IV}\cdot S_0=0.46$	-	
31	加東市立東条中学校 (校舎棟)	加東市岩屋610-31	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.04$ $C_{IV}\cdot S_0=0.35$	-	
32	加東市立社中学校 (校舎棟)	加東市木梨1134-62	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{IV}\cdot S_0=0.31$	-	
33	加東市立滝野中学校 (管理・教室棟)	加東市下滝野761	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.52$ $C_{IV}\cdot S_0=0.36$	-	
34	国立大学法人兵庫教育大学附属小学校	加東市山国2013-4	小学校	-	-	-	
	南校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.73$ $q=2.36$	-	
	北校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.97$ $C_{IV}\cdot S_0=0.39$	-	
	低学年校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所用の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{s0}=1.50$	-	
35	多可町立中町中学校 (北校舎、南校舎、東渡り廊下)	多可郡多可町中区奥中588	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.02$ $C_{IV}\cdot S_0=0.30$	-	
36	多可町立八千代中学校	多可郡多可町八千代区中野間680	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.20$ $C_{IV}\cdot S_0=0.57$	-	
37	福崎町立田原小学校 (校舎棟)	神崎郡福崎町西田原1274	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.04$ $C_{IV}\cdot S_0=0.50$	-	$U=1.25$
38	福崎町立福崎小学校 (北校舎棟、南校舎棟)	神崎郡福崎町馬場169-4	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.10$ $C_{IV}\cdot S_0=0.38$	-	$U=1.25$
39	福崎町立福崎東中学校 (校舎棟)	神崎郡福崎町南田原1200-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.16$ $C_{IV}\cdot S_0=0.39$	-	$U=1.25$
40	相生市立中央小学校 (普通教室・特別教室棟、管理・教室棟、東・西渡り廊下)	相生市旭5丁目16番67号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.38$ $C_{IV}\cdot S_0=0.32$	-	
41	相生市立那波中学校 (管理教室棟①・②-2、特別教室棟、東・西・北渡り廊下)	相生市那波本町5-44	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.21$ $C_{IV}\cdot S_0=0.34$	-	
42	たつの市立神部小学校	たつの市揖保川町黍田434番地	小学校	-	-	-	
	本校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.37$ $C_{IV}\cdot S_0=0.47$	-	$U=1.2$
	北校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.02$ $C_{IV}\cdot S_0=0.43$	-	$U=1.25$
	東昇降口、渡り廊下、西昇降口			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s/I_{s0}=1.07$ $C_{IV}\cdot S_0=0.51$	-	$U=1.17$
43	たつの市立揖保小学校	たつの市揖保町西構67	小学校	-	-	-	
	本校舎、北校舎、東渡り廊下、西渡り廊下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.04$ $C_{IV}\cdot S_0=0.32$	-	
	昇降口			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=1.56$ $q=6.24$	-	
44	たつの市立神岡小学校	たつの市神岡町上横内51	小学校	-	-	-	
	北校舎、本校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.03$ $C_{IV}\cdot S_0=0.39$	-	$U=1.17$
	渡り廊下			建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。)に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	-	

45	たつの市立新宮小学校 (教室棟、管理棟、渡り廊下)	たつの市新宮町新宮437番地	小学校	「公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目」(昭和55年7月23日付け文管助第217号文部大臣裁定)	$I_s=0.70$ $q=2.43$	—	
46	たつの市立御津小学校	たつの市御津町釜屋206番地	小学校	—	—	—	$U=1.17$
	本校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.56$	—	
	北校舎、給食受入室			建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。)に限る。)に適合するものであることを確認する方法	$I_s/I_{s0}=1.04$ $C_{10} \cdot S_0=0.79$	—	
	東昇降口				確認できる	—	
東渡り廊下	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。)に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—				
西昇降口	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。)に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—				
47	たつの市龍野中学校 (本校舎、北校舎、西校舎、昇降口、東渡り廊下、体育館渡り廊下、体育館)	たつの市揖西町小神字芦原30番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.03$ $C_{10} \cdot S_0=0.31$	—	
48	たつの市立揖保川中学校 (教室棟)	たつの市揖保川町正條471番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.40$	—	
49	たつの市立龍野東中学校	たつの市龍野町日飼100番地	中学校	—	—	—	
	本校舎1・2階、中校舎、北校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.07$ $C_{10} \cdot S_0=0.81$	—	
	本校舎3階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.77$ $q=1.54$	—	
50	兵庫県立播磨特別支援学校	たつの市揖西町中垣内乙135番地	特別支援学校	—	—	—	$U=1.25$
	本館管理棟、中校舎、北校舎、自立活動棟、啓成棟、三省棟、友愛棟、スロープ①・②、渡り廊下②・③・④、寄宿舎サービス棟、渡り廊下、体育館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_{10} \cdot S_0=0.38$	—	
	渡り廊下⑤			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.81$ $q=3.24$	—	
51	赤穂市立赤穂小学校 (校舎棟)	赤穂市加里屋37番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.02$ $C_{10} \cdot S_0=0.30$	—	
52	赤穂市立御崎小学校 (校舎棟、渡り廊下)	赤穂市朝日町3番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.65$	—	
53	赤穂市立坂越小学校 (校舎棟、屋内運動場、渡り廊下棟)	赤穂市坂越1696番地の1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.36$	—	$U=1.25$
54	赤穂市立赤穂東中学校 (北校舎⑩-1棟、南校舎⑨-1棟、東校舎棟、渡り廊下)	赤穂市朝日町1番地の1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.02$ $C_{10} \cdot S_0=0.47$	—	
55	赤穂市立赤穂中学校 (校舎棟、渡り廊下)	赤穂市加里屋2800番地の1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.40$	—	$G=1.10$
56	赤穂市立赤穂西中学校 (校舎棟、東渡り廊下)	赤穂市塩屋1870番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.43$	—	
57	兵庫県立赤穂特別支援学校 (教室棟、管理棟、昇降口棟)	赤穂市大津1305番地	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.30$ $C_{10} \cdot S_0=0.39$	—	$U=1.25$
58	宍粟市立神戸小学校	宍粟市一宮町東市場788	小学校	—	—	—	
	教室棟、西渡り廊下棟、管理教室棟、東渡り廊下棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.02$ $C_{10} \cdot S_0=0.38$	—	

		東昇降口棟、西昇降口棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.80$ $q=3.20$		
59	宍粟市立千種小学校 (校舎)	宍粟市千種町千種 29	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.13$ $C_{10} \cdot S_0=0.45$	—	
60	宍粟市立波賀小学校 (校舎)	宍粟市波賀町安賀 748-2	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_1 \cdot S_0=0.36$	—	
61	宍粟市立波賀中学校 (普通教室棟)	宍粟市波賀町安賀 244	中学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_1 \cdot S_0=0.30$	—	
62	太子町立石海小学校 (特別・管理教室棟、教室棟)	攝保郡太子町福地 422	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{10} \cdot S_0=0.49$	—	$U=1.25$
63	上郡町立山野里小学校 (南校舎、北校舎、渡り廊下)	赤穂郡上郡町山野 里2142番地1	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.27$ $C_{10} \cdot S_0=0.38$	—	
64	佐用町立佐用中学校 (管理教室棟、教室棟、廊下棟)	佐用郡佐用町本位 田乙104-5	中学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.38$	—	$U=1.25$
65	豊岡市港西小学校 (普通特別教室棟、管理特別教室棟)	豊岡市瀬戸57番地	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.58$	—	
66	豊岡市立五荘小学校	豊岡市中陰1番地	小学校		—	—	—	
	普通教室棟・管理棟、特別教室棟、渡り廊下棟、普通教室棟、昇降口・渡り廊下棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{10} \cdot S_0=0.42$	—		
	屋内運動場			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.73$ $q=1.20$			
67	豊岡市豊岡南中学校	豊岡市大機町1番65号	中学校		—	—	—	
	普通教室棟、管理特別教室棟、渡り廊下棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.48$	—		
	屋内運動場			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.73$ $q=1.09$			
68	豊岡市立豊岡北中学校 (教室棟、障害児・特別棟、管理棟、特別教室棟)	豊岡市中陰250番地	中学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.33$	—	
69	豊岡市立日高西中学校 (校舎・昇降口棟、特別教室棟)	豊岡市日高町庄境 410番地	中学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.77$	—	
70	豊岡市日高東中学校 (管理・特別教室棟、教室・便所棟、特別教室棟、昇降口・廊下棟、渡り廊下その他棟)	豊岡市日高町水上 160番地	中学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{10} \cdot S_0=0.41$	—	
71	兵庫県立出石特別支援学校	豊岡市出石町宮内 2-8	特別支援学校		—	—	—	
	A棟、B棟、体育館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.30$ $C_{10} \cdot S_0=0.40$	—	$U=1.25$	
	C棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所用の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{so}=1.41$			
	渡り廊下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=1.05$ $q=2.19$			
72	養父市立大屋中学校 (管理教室棟、特別教室棟、渡り廊下棟)	養父市大屋町加保 45-1	中学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.18$ $C_{10} \cdot S_0=0.42$	—	
73	朝来市立山口小学校 (校舎南棟、階段室棟、渡り廊下棟、昇降口棟)	朝来市羽瀨565番地 2	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{10} \cdot S_0=0.32$	—	
74	朝来市立大蔵小学校 (校舎棟)	朝来市和田山町宮 田220	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{10} \cdot S_0=0.77$	—	

75	朝来市立竹田小学校 (北校舎、南校舎、渡り廊下)	朝来市和田山町安井61	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.11$ $C_r \cdot S_0=0.81$	—	
76	朝来市立枚田小学校	朝来市和田山町和田山474	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.47$	—	
77	朝来市立朝来中学校 (南棟、北棟、東棟、西棟)	朝来市新井92番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.32$	—	
78	朝来市立梁瀬中学校 (校舎棟)	朝来市山東町楽音寺159番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.40$ $C_{10} \cdot S_0=0.38$	—	
79	香美町立兎塚小学校	美方郡香美町村岡区福岡324	小学校	—	—	—	
	校舎棟、屋内運動場			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.05$ $C_r \cdot S_0=0.30$		
	幼稚園棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.89$ $q=1.12$		
80	香美町立村岡小学校	美方郡香美町村岡区村岡2940	小学校	—	—	—	
	管理教室棟、屋内運動場			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.05$ $C_{10} \cdot S_0=0.49$		
	特別教室・幼稚園棟			建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる		
81	香美町立香住第一中学校 (普通教室棟、昇降口棟、渡り廊下棟、便所棟)	美方郡香美町香住区香住919-2	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.31$	—	
82	新温泉町立浜坂中学校 (校舎)	美方郡新温泉町浜坂77-185	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.35$	—	$G=1.10$
83	篠山市立丹南中学校 (管理室・特別教室棟、普通教室・特別教室棟、教室・特別教室棟、特別教室棟)	篠山市味間新192	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.79$	—	渡り廊下部分は未診断 (平成29年度実施予定)
84	丹波市立佐治小学校 (特別教室棟)	丹波市青垣町佐治282-3	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_r \cdot S_0=0.80$	—	
85	丹波市立和田小学校 (管理・特別教室棟、普通教室棟)	丹波市山南町和田1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_r \cdot S_0=0.38$	—	
86	丹波市立崇広小学校 (管理・特別教室棟、普通・特別教室棟、渡り廊下棟(東・西))	丹波市柏原町柏原683	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_{10} \cdot S_0=0.40$	—	
87	丹波市立北小学校	丹波市水上町絹山608	小学校	—	—	—	
	南校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.45$ $C_r \cdot S_0=0.48$		
	北校舎、渡り廊下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.56$ $C_{10} \cdot S_0=0.32$		
88	丹波市立中央小学校 (北校舎、南校舎、渡り廊下)	丹波市水上町成松186-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.33$ $C_r \cdot S_0=0.30$	—	
89	丹波市立市島中学校 (教室棟、特別教室棟、昇降口、渡り廊下(屋内)、倉庫棟)	丹波市市島町上垣2002	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.03$ $C_{10} \cdot S_0=0.53$	—	
90	丹波市立春日中学校 (南校舎、北校舎、昇降口棟)	丹波市春日町野村2476	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.26$ $C_r \cdot S_0=0.35$	—	
91	洲本市立大野小学校 (教室棟)	洲本市大野318番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_r \cdot S_0=0.31$	—	
92	洲本市立五色中学校 (普通教室棟、管理・特別教室棟、東・西渡り廊下棟)	洲本市五色町広石北125番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.06$ $C_{10} \cdot S_0=0.38$	—	

93	洲本市立青雲中学校 (管理・教室棟、特別教室棟、屋内運動場)	洲本市物部三丁目10番1号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.16$ $C_{iw} \cdot S_0=0.42$	—	
94	洲本市立由良中学校 (教室棟)	洲本市由良町由良2355-1番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.43$ $C_i \cdot S_0=0.46$	—	
95	南あわじ市立阿万小学校 (管理教室棟)	南あわじ市阿万下町420番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_{iw} \cdot S_0=0.43$	—	$U=1.25$
96	南あわじ市立賀集小学校 (校舎)	南あわじ市賀集1000番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.26$ $C_{iw} \cdot S_0=0.39$	—	$U=1.25$
97	南あわじ市立福良小学校 (管理棟、教室棟)	南あわじ市福良乙1205	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.31$ $C_{iw} \cdot S_0=0.40$	—	$U=1.25$
98	淡路市立石屋小学校 (校舎A・B・C棟)	淡路市岩屋529-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.27$ $C_i \cdot S_0=0.41$	—	
99	淡路市立志筑小学校 (管理教室棟、教室棟)	淡路市志筑1578	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_{iw} \cdot S_0=0.39$	—	

■危険物の貯蔵場又は処理場の用途に供する建築物

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	ディーゼルユナイテッド試運転工場、機械・組立工場	相生市相生5292番地	危険物を貯蔵又は処理する建築物	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.04$ $q=0.17$	未定		

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I	II	III
「公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目」(昭和55年7月23日付文管助第217号文部大臣裁定)		$I_s < 0.3$ 又は $I_a < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」		上部構造評点 < 0.7	$0.7 \leq$ 上部構造評点 < 1.0	$1.0 \leq$ 上部構造評点
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)		$I_s < 0.3$ 又は $I_a < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所用の耐震性を確保していることを確認する方法		—	—	$1.0 \leq I_s/I_{50}$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)		$I_s/I_{50} < 0.5$ 又は $C_1 \cdot S_0 < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{50}$ かつ $0.3 \leq C_1 \cdot S_0 \leq 1.25$ $1.25 < C_1 \cdot S_0$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)		$I_s/I_{50} < 0.5$ 又は $C_{10} \cdot S_0 < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{50}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{10} \cdot S_0$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1983年版)		$I_s/I_{50} < 0.5$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{50}$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	鉄骨材が充腹材の場合	$I_s/I_{50} < 0.5$ 又は $CT \cdot SD < 0.125 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{50}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_1 \cdot S_0$
	鉄骨材が非充腹材の場合	$I_s/I_{50} < 0.5$ 又は $CT \cdot SD < 0.14 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{50}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_1 \cdot S_0$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨材が充腹材の場合	$I_s/I_{50} < 0.5$ 又は $C_{10} \cdot S_0 < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{50}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{10} \cdot S_0$
	鉄骨材が非充腹材の場合	$I_s/I_{50} < 0.5$ 又は $C_{10} \cdot S_0 < 0.14 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{50}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{10} \cdot S_0$
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」		$I_s < 0.3$ 又は $I_a < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。)に限る。)に適合するものであることを確認する方法		—	—	確認できる

- I. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- III. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模の地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

※表に掲げる補正係数Z、R_t、G、Uについては、備考欄に記載のある場合を除き1.0である。